

[ 達成状況評価 ]

|            |   |
|------------|---|
| 実施年度       | 平成 26 年度  |
| ワーキンググループ名 | キャリア教育ワーキンググループ   |
| グループの目的    | キャリア教育の高度化と体系化  |
| グループの目標    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係科目(キャリア基礎, キャリア開発など)の内容見直し。</li> <li>・ポートフォリオの電子化と有効的な活用法の検討。</li> <li>・学生のキャリアデザイン構築に向けての指導, 補助。</li> <li>・外部招聘講師の選定と効果の検証。</li> </ul> |

| 目標項目                         | 目標達成状況  | 自己評価       |
|------------------------------|---|------------|
| 関係科目(キャリア基礎, キャリア開発など)の内容見直し | キャリア基礎(1年前期)の内容の見直しを行い、在学中4年間のキャリア育成の意識を持たせた。またキャリア開発(2年)においてはキャリア育成専門の外部講師を採用し、内容の充実を図った。          | 十分に達成されている |
| ポートフォリオの電子化と有効的な活用法の検討       | Excelを用いてポートフォリオの電子化を行い、新入生から適用した。活用法においては教員の意識改革も必要であり、また電子フォーマットの修正・改善が必要であることも判明した。引き続き改善が必要である。 | 十分に達成されている |
| 学生のキャリアデザイン構築に向けての指導, 補助     | 1年生の「キャリア基礎」の運用形態、内容の見直しを行い、4年間のキャリアデザイン構築に対する意識の改革について指導を行った。                                      | 十分に達成されている |
| 外部招聘講師の選定と効果の検証              | 岡山理科大学の人材データベースをもとに、「地域産業論」の講師2名を選定し授業を実施、「リーダーシップ論」では東京理科大学のOBにお願いし、講演を行った。次年度の方針を検討することができた。      | 十分に達成されている |

※「目標項目」は「グループの目標」に基づいてさらに具体的な項目を策定する。

【推進本部会議評価】

| 評価                 | 評価コメント   |
|--------------------|--|
| 概ね趣旨を反映した事業遂行が図られた | キャリア科目の内容の更なる充実に向け、産業界との連携にも力を注いでいる。ポートフォリオの電子化を行い、運用を始めたことは評価できる。 |

推進本部会議委員長

酒井 吉雄



【評価委員会最終評価】

| 評価       | 評価の理由  |
|----------|--|
| 概ね適合している | 他大学と産業界との連携を基にキャリア教育の高度化が実施され、ポートフォリオの電子化に取り組んでいる。運用の効果については継続的検証が必要であり、より多くの学生からのフィードバックが求められる。 |

評価委員会委員長

稲垣 詠一

